

[法人の概要]

① 団体名	公益財団法人とちぎ男女共同参画財団					
② 設立年月日	平成7年6月1日	③ 代表者 矢野 哲也				
④ 所在地等	宇都宮市野沢町4-1		電話 028-665-7700			
⑤ 設立目的 事業内容	[設立目的] 男女共同参画に関する各種事業及び県民の自主的かつ主体的な活動の支援を行い、豊かで活力のある男女共同参画社会の実現に寄与する。 [事業内容] 情報収集提供事業、調査研究事業、相談支援事業、啓発・学習・研修事業、拠点施設管理運営事業、財団自主企画事業					
⑥ 基本財産 (資本)	総額 38,000千円 (内訳) 栃木県出資額 38,000千円 (100.0%)					
⑦ 役員員数	県OB	県派遣	県現職	他団体等	専任	合計
理事						
常勤	1					1
非常勤	1		2	3		6
監事						
常勤				2		0
非常勤						2
職員						
常勤	2	1			2	5
非常勤					9	9
臨時						0
⑧ 常勤職員の 年齢構成	~20代	30代	40代	50代	60代~	平均年齢
			1	2	2	57才

〈 (公財) とちぎ男女共同参画財団 から県民のみなさまへ 〉

男女共同参画に関する各種事業の実施、県民による自主的・主体的な活動への支援等を通じて、豊かで活力ある男女共同参画社会の実現に寄与して参ります。

なお、令和5年度における重点的取組として、以下の事業を推進します。

- ・女性のキャリアアップや再チャレンジ支援
- ・男女共同参画の視点での防災対策
- ・若者のキャリアデザインへの支援

令和5年8月 理事長 矢野哲也

[情報公開]

HP	URL : https://www.parti.jp/index.html
その他 (情報誌・SNS)	とちぎ男女共同参画推進情報誌「パルティ」

[監査等結果]

名称	実施年月日	結果
財団監査	令和5(2023)年5月25日	適正

[その他特記事項]

- (市町その他との連携・業務効率化のためのICT利活用など)
- ・男女共同参画の視点で考える防災講座等を出張セミナーにおいて開催している。
 - ・講座の申込をHPのフォームからも受け付けている。

[主な事業の事業費・概要等] (千円、%)

事業名	R3	R4	事業概要
事業1 事業費	22,365 13.6	21,967 12.9	各種講座(FP講座、パソコン講座、キャリアデザイン講座等)の開催
事業2 指定管理事業費	138,216 83.9	145,795 85.3	とちぎ男女共同参画センター(南館)の維持管理に要する経費
事業3			
全体事業	164,687	170,874	

[財務指標]

		R2	R3	R4
自己資本比率	正味財産合計/資産合計×100	72.3	73.7	74.1
流動比率	流動資産合計/流動負債合計×100	397.1	463.9	496.2
有利子負債依存度	有利子負債/資産合計×100	0.0	0.0	0.0
管理費比率	管理費/経常費用計×100	8.3	8.6	8.2
人件費比率	人件費/経常費用計×100	35.6	36.0	34.4
独立採算度	(経常収益計+経常外収益計-県からの補助金収入)/(経常費用計+経常外費用計)×100	90.0	90.1	88.1

[収支決算書 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)]

(単位:円)

収入の部		支出の部	
1 基本財産運用収入	760	1 事業費	21,966,846
2 事業収入	735,800	2 指定管理受託事業費	131,845,200
3 指定管理施設利用料収入	18,259,877	3 指定管理一般管理費	13,949,819
4 指定管理自主事業収入	124,437	4 指定管理自主事業	1,778,292
5 自主事業補助収入	15,921,000	5 特定預金支出	1,333,805
6 指定管理業務受託収入	126,559,000		
7 啓発受託事業収入	3,824,046		
8 受取利息	451		
9 指定管理雑収入	989,850		
10 指定管理者支援金	9,105,000		
当期収入合計 (A)	175,520,221	当期支出合計 (C)	170,873,962
前期繰越収支差額	128,561,754	当期収支差額 (A-C)	4,646,259
収入合計 (B)	304,081,975	次期繰越収支差額 (B-C)	133,208,013

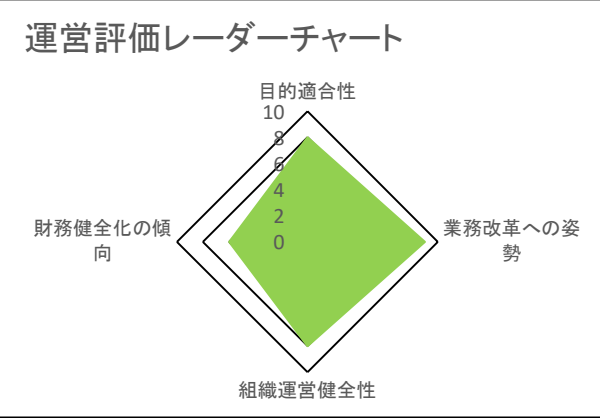
[貸借対照表 (令和5年3月31日現在)]

(単位:円)

資産の部		負債及び正味財産の部	
流動資産	116,860,794	流動負債	23,552,653
小口現金	60,300	未払金	17,994,253
普通預金	115,746,508	前受金	2,827,230
未収金	103,287	預り金	388,840
立替金	950,699	賞与引当金	2,260,930
		未払法人税等	81,400
固定資産	62,948,180	固定負債	23,048,308
基本財産	38,000,000	退職給付引当金	23,048,308
特定資産	24,048,548		
その他の固定資産	899,632		
		負債合計	46,600,961
		正味財産	133,208,013
		(うち基本財産)	(38,000,000)
		(うち当期正味財産増加額)	(4,646,259)
		正味財産合計	133,208,013
資産合計	179,808,974	負債及び正味財産合計	179,808,974

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	5	8	10	80%
業務改革への姿勢	5	9	10	90%
組織運営健全性	5	8	10	80%
財務健全化の傾向	5	6	10	60%
合計	20	31	40	78%



目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
業務改革への姿勢	法人経営の方針や事業の実施目標等を設定し、それらに沿った運営を行っているか等
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
財務健全化の傾向	法人の財務状況が健全化傾向にあるか

[自己評価]

前年度の法人運営についての自己評価 (振り返り)	<ul style="list-style-type: none"> ・とちぎ男女共同参画センター(南館)の指定管理業務は適正に執行している。 ・啓発支援課の各種事業については計画どおり執行できている。 								
事業実施上の課題 (主に目的適合性・業務改革の姿勢の評価を基に作成)	<ul style="list-style-type: none"> ・出先機関「とちぎ男女共同参画センター」との役割分担については、引き続き県と検討していく。 ・オンラインを活用した事業実施については、既に実績があり、今後も講座の内容等を検討しながら拡充していく。 								
組織・財務上の課題 (主に組織運営健全性・財務健全化の傾向の評価を基に作成)	<ul style="list-style-type: none"> ・組織、人事、財務等の内部管理体制は適切に運用され、財務状況も健全化傾向にある。 ・今後、職員採用により更なる組織体制の強化を図る必要がある。 								
県現職派遣の理由、必要性の評価	・男女共同参画社会の実現に向けた各種施策について、県からの受託事業や補助事業等の業務に従事するため必要である。								
課題に対する今後の取組の方向性	・とちぎ男女共同参画センター(南館)の次期指定管理の受託後に職員採用を行い組織の強化を図る。								
得点率の推移	<table border="1"> <thead> <tr> <th>得点率</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>78%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	得点率	R4	R5	R6	78%			
得点率	R4	R5	R6						
78%									

[所管部局評価]

政策目標	男女共同参画社会の実現に向けた取組を推進する		
県の役割と担割区分	県の役割	男女共同参画に関する施策を総合的に推進する	
	法人に期待する役割	県の施策に合った各種事業を実施し、県民による自主的・主体的な活動を支援する	
財政支出状況(千円)	区分	令和5年度予算額	令和4年度決算額
	補助・交付金	15,536	25,026
	委託料	129,591	130,383
	貸付金		
	その他		
	計	145,127	155,409

指定管理	施設名	管理運営状況評価(R3)				
		A	B	C	D	E
	とちぎ男女共同参画センター		10	11	1	

締結状況(指定)	契約件名	契約締結の方法	指名競争入札又は随意契約とした理由	R4契約金額(千円)	効果測定指標	目標値	実績			効果測定
	令和5(2023)年度「若者のキャリアデザイン講座」事業に係る委託	随意契約	随②	1,566	講座定員に対する受講者数率(%)	80	R2	R3	R4	B
	イクメン応援講座事業	随意契約	随②	1,524	講座定員に対する受講者数率(%)	80	43	53	69	B

法人の自己評価に対する意見	
<p>評価の視点である「組織運営健全性」の得点率は80%となっており、適正な運営が行われている。財団では個人の能力向上を図るような発展的で専門的な講座を行い、とちぎ男女共同参画センターでは、男女共同参画の基本的な部分の啓発(講座)を行うなど役割を分担し事業実施がされている。</p> <p>財団は県の施策に合った各種事業を部局の枠にとらわれずニーズに応じて柔軟に実施できる組織であり、女性のためのこころのケア講座やFP技能検定準備講座などの多種多様な講座を実施している。財団の実施講座は、昨年度の講座受講者アンケートにおいて93.6%(全講座の平均)の受講者が満足又はやや満足と回答するなど高い評価を得ている。また、長年事業に携わっている財団職員の経験や知見は、県の施策を検討する上でも貢献度は大きい。これらは効果測定指標で確認することはできないが、県民の主体的な活動を支援するとともに、県の男女共同参画の一翼を担い、広い視点で県の事業を補完するなど財団に期待する役割を十分に果たしている。引き続き、調整役となる県職員1名を派遣し、県の施策と連携していくことが必要と考え</p>	
県が期待する役割の達成	A

主な補助事業の実施状況	事業名	事業概要	R4補助金額(千円)	効果測定指標	目標値	実績			効果測定
	とちぎ男女共同参画財団自主活動支援事業費補助金	男女共同参画社会の実現に向けて、県民の自主的、主体的活動を支援する事業への助成に要する経費	15,921	講座定員に対する受講者数率(%)	80	R2	R3	R4	B
	エネルギー価格高騰対策指定管理者支援金	—	9,105	—	—	—	—	—	—

今後の連携・見直し方針	G7大臣会合を受け、今後男女共同参画の取組を加速していくためにも、県全域を対象に県の施策に合った事業を展開できる(財)とちぎ男女共同参画財団はますます重要な役割を果たすものと考えられる。今後は、デジタル化の進展を踏まえ、オンライン講座を積極的に活用するなど事業の充実に努めることが必要と考える。
-------------	---

[総合評価]

A	総合的所見	財務指標において、全体的に健全化傾向が認められる。引き続き、効率的な事務執行及び自主財源の確保に努められたい。県民サービス向上に有用なデジタル技術は積極的に活用し、事業の充実に努められたい。県その他の主体と連携し、G7大臣会合開催県として、男女共同参画・女性活躍推進の加速化に向け、各事業実施に取り組まれたい。	[R4行革委員会報告書(個別法人に対する評価等・継続検討項目以外)]
	指摘事項	なし	<ul style="list-style-type: none"> 見直し方針に順調に対応してきたが、引き続き県の出先機関である「とちぎ男女共同参画センター」との適切な役割分担について検討するとともに、自主財源の確保に努める必要がある。 デジタル化の進展を踏まえ、オンライン講座などの積極活用等による事業の充実に努める必要がある。 SDGsの目標である「ジェンダー平等」の達成に向け、性別問わず参加可能な講座や男性を対象とした事業の充実に努めるほか、青少年育成・生涯学習等、他団体(県域・各市町・NPO等民間団体)の行う研修やイベント等との事業連携や、性的マイノリティに関する理解促進の取組も検討していく必要がある。